

元氣が
育つ村

ぐんぐん育つ
ボクらの元気!!



下條村長
伊藤喜平

「あいさつ

明治22年に「下條村」が誕生して以来、124年単独村として今日に至っています。その過程は決して平坦な道のりではなく、昭和33年には議会を解散し、合併問題を村民に問い合わせた時もありました。平成の大合併の時には、村民の大多数の賛同を得て、平成16年2月自立宣言を行いました。

南信州を取り巻く環境を見ますと、リニア中央新幹線は、今秋には環境アセスメントが終了し、2027年の開業に向け工事着工の年にならうかと思います。また三遠南信自動車道も平成24年3月には引佐北ICから鳳来峡ICまでが開通し、青崩れ峠道路も起工式が行われ全線開通の目途が立って来ました。

天竜公園阿智線は、狭窄した阿智村伍和工区の橋梁工事は完成し、318mのトンネル部も掘削工事が着工の運びとなりました。

日本全体が人口減少、少子化・高齢化社会に入ったなではありますが、飯田下伊那地域は更に発展が望める、魅力ある環境が整いつつあります。

そのような中、いまでは下條村は「元気が育つ村」になつてきています。

下條村では子育て支援の充実や生活コストの軽減など、「住み良い安心安心で魅力溢れる村」「若者定住が益々進み、お年寄りと共に存できる魅力溢れる村」を目指し、皆様方の一層のご協力ご指導を頂きながら、「変革の時代」を地にしつかりと足の着いた政策に取り組んで参ります。

2-3P 村長ごあいさつ



4-5P 環境計画



6-9P 産業振興計画



10-15P 健康・福祉・医療・教育計画



16-17P 交通・通信・防災計画



18-19P 「元気が育つ村」へ
つどう人たち



20-21P 下條村120年の歩み



22-23P 下條村 MAP



環境に配慮し、自然と調和したむらづくり



環境美化の推進

廃棄物の適正処理確保に向けて、ゴミの分別収集、事業廃棄物の資源化、広域連合ゴミ処理施設の適正利用など、それぞれが意識して行動を実行しています。また、今後取り組む最終処分場の建設や、ゴミ処理負担制度の検討など、直面する問題を一つ一つ解決していく必要があります。結果的に排出された廃棄物を極力再生利用(リサイクル)して、「循環型社会」へ転換を目指していくことが重要となっています。また、犬などペットのフンや「ゴミのポイ捨て」といったモラルの向上も推進していきます。

住宅・宅地の供給

平成2年～20年にかけて、若者を対象に人口増を目標に推進してきました。平成9年度からは建設造成地が手狭なため、集合住宅に切替え建設し、住宅入居へのニーズにも対応。また、平成20年度には企業向けの単身集合住宅を建設するなど、若者の定着を図り村の活性化をすすめています。分譲住宅地は「ヨーテウンコスモス」、「おおばら」地区の分譲が順調に供給されています。今後は、現在の建物の維持修繕を行ないながら、これから入居状況も見据えた計画を行っていきます。

光ファイバー網

自然豊かな山々に囲まれた下條村では自然災害の際、緊急時に情報を迅速かつ的確に伝達でき、高齢化社会にも対応した親しみやすい「情報伝達システム」の整備をする事により、安全で安心して暮らせる生活環境を確保しなければいけません。そこで、全村を網羅する光ファイバーネットを利用した、ケーブルテレビシステムと超高速インターネット接続が行えるハイブリッドな情報通信基盤の環境を使って、より速い情報伝達で私たちの暮らしの安全を確保していきます。

図書館

村立図書館は平成7年7月、村中心部にある村多目的施設「あしたむらんど下條」に開設されました。村内には書店がなく、学習の場として設置を求める声が強く、それを裏付けるかのように、年間貸出冊数は村民一人当たり17冊で県内の公立図書館では2位と高い利用度で常にトップクラスを維持しています。また、絵本の読み聞かせなどの催しで、子どもたちの読書への関心を高めるきっかけとなっているほか、住民の交流の拠点の役割も果たしています。



秘訣 その1 住みよい環境づくり

- ① 自然循環型社会の構築とゴミ減量化の推進
- ② 地域に根ざした住宅・宅地の供給
- ③ コミュニケーションと地域文化の構築

ふれあいと交流、地域の特色を生かしたむらづくり

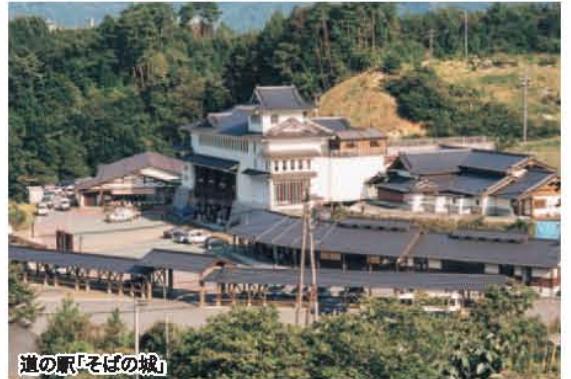


秘訣 その2 産業の振興

- ① 豊かな土地を活用した特産品づくり
- ② 交通ネットワークを活用した観光の推進
- ③ 時代とニーズに対応したプログラムづくり



伝統野菜の親田辛味大根



道の駅「そばの城」



コスモスの湯

下條村の特産品には「信州の伝統野菜」の認定を受けた親田辛味大根をはじめ、果実のオーナー制度で収穫体験が楽しめる、梨・りんごの栽培が盛んです。親田辛味大根は下條村親田（おやだ）地区で栽培され、江戸時代に尾張徳川家に献上された記録が残るほど、歴史が古く村民に守られてきた伝統野菜です。また、下條村では農家の高齢化に伴い手つかずの農地が増えていますが、ソバ栽培を、新たな特産品として広めようとする農業振興策と遊休農地の再利用に取り組んでいます。

中央自動車道が開通して30年以上が経過し、新たに三遠南信自動車道天龍峡インターも開通しました。また、中央リニア新幹線がCルートで決定し、今後は飯田をはじめとした都市圏の強い影響を受けることとなります。村内への企業誘致、温泉を中心とした観光開発などにより、国道の交通量が近年徐々に増加していく中で、下條村の観光の表玄関として多くの利用客が訪れる道の駅「信濃路下條」を、さらに魅力ある施設になるように取り組んでいきます。

特産品

観光拠点

観光資源

本村はいち早く温泉開発や公園整備に取り組み、泉質が良好で露天風呂の眺望がいい、秋桜の湯が平成2年に、バター・マレット・ゴルフが楽しめるリフレッシュパークも平成5年にオープンしました。観光入込数も年々増加しておりますが、近隣市町村に同様の施設が整備されてきたことにより、集客数は減少傾向にあります。

今後は、リフレッシュパークへの複合遊具の設置や、施設利用者のニーズに対応した改修・見直しを行っていく必要があります。さらに、新たな観光資源の発掘や、広報・周知活動を積極的に行っていくなど、新たな観光プログラムの提供を進めていきます。



元気が育つ

秘訣 その3 交流の促進

- ① 新たな産業の発掘を推進
- ② 村民の自立と行政の連携の推進
- ③ 自主的な地域活動のコミュニティーを推進



近年の工場事業所数は、平成12年から年々減少しています。これは、景気の後退、産業構造の変化により、企業統合・集約が行われた結果と推測されます。今後は、天龍峡インター開設によって工場の進出も行われ、立地条件が好転するのを生かし、事業の拡大や立地を促進していく予定です。さらに優れた人材が集まる環境が求められ、そのための居住環境を協力していく施策を検討していきます。また、知的一次産業の育成など、新たな起業家を育成するといったこれまでとは発想を変えた、振興策が求められています。

本村では、すべての事業を村だけで行うのではなく、資材支給事業や地域づくり交付金などを取入れることで、地域での取組みが活動に行われるようになりました。現在では地域が主体となつた活動が頻繁に行われています。このように、村民一人一人が自分たちで村づくり活動を継続して行えるような更なる事業や、若者から年配の方まで世代を超えて、村民の主体的・積極的な参画の拡充を今後もすすめていきます。

工業の振興

村民による村づくり

コミュニティー活動の推進

人口が増加傾向にある、下條村では、地域が主体となつた活動が活発に行われています。自ら栽培した特産品や工芸品の販売・展示、また、図書館など既存にあるコミュニティー施設での催し物の開催。このような活動を継続して行えるような更なる事業や、今後の「コミュニティー活動」をより活発に行っていくける施策、地域を考えた「コミュニティー施設の整備」を行っていくことで、あらたな「コミュニティー活動」の促進をすすめています。



みんなが集い、新たな発想で個性が映えるむらづくり



子育て福祉の充実

教科書に取り上げられた「子育て支援」の取り組み

下條村の子育て支援
平成20年4月現在の合計特殊出生率は、長野県1・45人、全国平均1・37人であるのに対し、本村では、平成16～20年の平均が2・07人となり、県下トップです。この要因として、若者集合住宅の建設や高校生までの医療費給付事業の拡充、未満児保育等子育て支援によるものと考えられます。また、平成22年から始まった後期次世代育成支援対策推進行動計画に基づき、各種施策を進め必要があります。全国的に注目を集めている本村でも、引き続き細やかな対策に取り組んでいます。



平成20年4月現在の合計特殊出生率は、長野県1・45人、全国平均1・37人であるのに対し、本村では、平成16～20年の平均が2・07人となり、県下トップです。この要因として、若者集合住宅の建設や高校生までの医療費給付事業の拡充、未満児保育等子育て支援によるものと考えられます。また、平成22年から始まった後期次世代育成支援対策推進行動計画に基づき、各種施策を進め必要があります。全国的に注目を集めている本村でも、引き続き細やかな対策に取り組んでいます。

若者集合住宅

自主財源で賃貸住宅を建てた下條村では、若者を対象に入居者を増やしてきました。入居条件を「子供がいる」「これから結婚する若者」に限定し、消防団への加入や村の行事への参加も条件に加えました。その結果、村が考える「理想の若者」が入居するようになり、村や地域が活性化し始めています。将来的に下條村に残つてもらい、地元住民と一緒に村づくりに参加し地域活動を共にしながら、地域に根づいてもらえるような仕組みづくりを今後も推進していきます。

児童教育の推進

平成19年から、信州大学工学部大下真一郎教授が開発した「思考力育成ソフト」を、いち早く学力向上の施策として導入し効果を出してきました。また、全国的な教育課題を真摯に受け止め、子供の学校教育の現状をつぶさに検証し、国際的改革の波に押し流されず、知・徳・体の三位一体の人間教育をより一層強力に推進できるよう指向していくなければなりません。そして、国際化に対応した人材の育成に向け、英語指導を充実するとともに海外研修など国際交流事業も引き続き推進しています。

生涯学習の推進

近年、人々の自由時間の増大、高齢化社会など社会の成熟化に伴う学習需要の增大、そして情報化、国際化による産業構造の変化、社会・経済の変化に対応するための「学習ニーズ」が高まってきたいます。こうしたニーズに応えるため、①普及・啓発と情報の提供②多様な学習機会の提供をしていくことが必要です。本村においても、村民の学習ニーズは高く、現在それに応えるべく、様々な学習機会や場の提供をしています。今後も、村民の学習ニーズを的確に把握し、よりニーズに沿った学習内容を提供していきます。

元気が
育つ

秘訣 その4 少子化への取組み

- ① 下條村を“故郷”と思う教育
- ② 地域コミュニティーの充実
- ③ “知・徳・体”三位一体の人間教育の推進





秘訣 その5

保健・福祉・医療の充実

- ① 専門性を活かしたサポートの充実
- ② 「もう一つの家」づくりの推進
- ③ 自分の余暇を利用した健康活動の推進



地域包括支援センター内



下條診療所



リハビリプール教室

高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続するためには、介護サービスをはじめ、さまざまなサービスが高齢者のニーズや状態の変化に応じて、切れ目なく提供される必要があります。こうした役割を果たす総合機関として設置されたのが「地域包括支援センター」です。保健師・主任介護支援専門員などの専門職を配置し、これらの専門職が連携して、それらの専門性を活かしながら迅速に、協働してチームを組み、高齢者をサポートしていきます。

地域包括支援センター

下條診療所

平成14年6月に輝山会記念病院の下條診療所がオープン。保健・医療・福祉の拠点としてワンストップサービスを提供しています。今後も高齢者の自立を支援するための各事業を開拓して、「心身ともに元気な高齢者」を増やしていきます。また、介護が必要になった場合でも本人の尊厳を確保し、安心して生活していくことができるよう、介護基盤の整備、人材育成の支援、関係機関のネットワークを構築し、他職種協働を取り入れながら、診療所として、村の中核医療を担っていきます。

リハビリプール

「もう一つの家」づくりを目指し、すべての村民が気軽に利用できることを目的として建てられた「いきいきらんど下條」。床の可動が可能なプールは小学生の水泳教室を始め、若者からお年寄りまでを対象とした水中運動や高齢者のリハビリ等、健康増進に向けた多目的な利用を行っています。今後も「いきいきらんど下條」を保健・福祉・医療の活動拠点として、また、村内医療機関との連携もさらに深めた、効率的で効果的な健康づくりに努めています。



いきいきらんど下條



デイサービスセンター

保健センター



◆◆◆◆◆歴史探訪◆◆◆◆◆



500年の歴史を今に伝える
重要文化財に指定されている相殿2社殿は、室町時代（1507年）、下條氏が京都から招いた工匠によって造られたもので、当時の中央文化による和様、禪宗様の技術を用い、全体に造りが繊細で、妻股、鼻木、妻飾りは当時の様式を伝え県下でも数少ない社殿である。長野県自然100選にも選ばれ、280種類もの植物が繁茂しています。

大山田神社



福太郎氏は華國宝と鑑定しました。

武田信玄の伊那先鋒衆として活躍

甲斐源氏小笠原氏の分流。6代康氏は

松本小笠原氏の応援を得て力を伸ばし、吉岡に城を築くなど、下條氏の基礎を固めました。9代信氏の時に、武田

信玄のもとで軍功を立たが、織田信長に追われ死亡。関ヶ原の戦後は、多くの

大名家に仕え氏姓を伝えてきました。

平安時代末期の仏像



現在は、吉岡城址公園となっています。

この仏像を鑑定した日本国宝社の松田

城城は東西約700m南北30~200mの楔形

状で、5つの空堀と5つの郭、その下段に

城下町を配備した連郭式平山城です。

戦国時代初め、下條氏6代康氏が、松本

小笠原氏の指示により築城し、以来7代

112年間下條氏の居城として使われました。

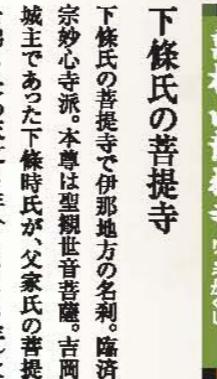
現在は、吉岡城址公園となっています。

吉岡城・吉岡城址公園



下條氏の菩提寺で伊那地方の名刹。臨済宗妙心寺派。本尊は聖觀世音菩薩。吉岡城主であった下條時氏が、父家の菩提を弔うため天文5年（1536年）に創建された。薬師如来の他、室町時代の作と伝えられている数体の仏像がある。

下條氏の菩提寺



萬松山龍巖寺



淨土宗智恩院派。本尊は阿彌陀如来。創建は戦国時代末期（1570年頃）。

武田信玄の命により浪合の原氏の一人が

小笠原に城館を構えて住み、その氏寺と

して建てたことによる。寺宝に武田信玄の馬頭觀世音菩薩とその文書がある。

武田信玄ゆかりの寺

秘訣 その6 文化と歴史

- ① 地方文化の時代に合わせた伝統芸能の継承
- ② 若い後継者育成の推進
- ③ 特色を活かした文化の推進



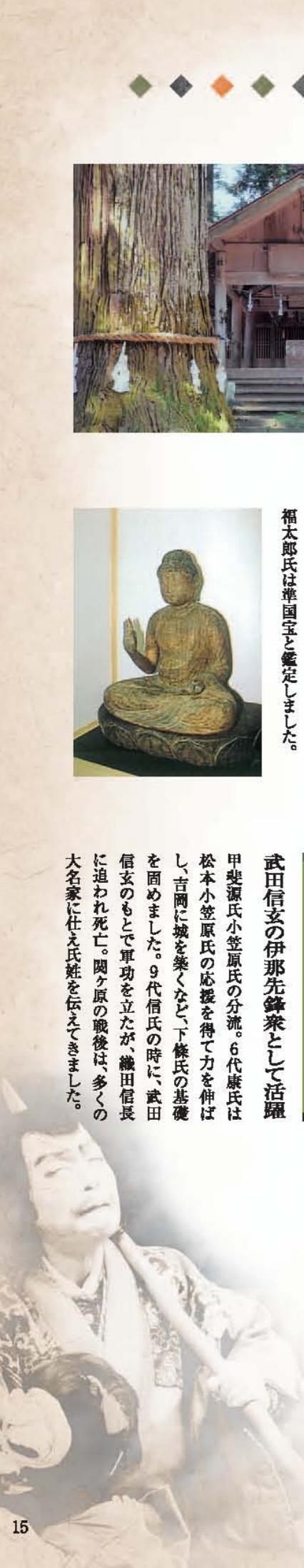
下條歌舞伎保存会

昭和46年に立ち上がった下條歌舞伎保存会。それまで村内の各地域で行われてきた歌舞伎も人手不足から成り立たなくなりました。そこで親田を中心に北又、粒良脇から担い手が集ることとなりました。特色ある各地の歌舞伎はなかなか一つにまとまりませんでしたが、「歌舞伎が好き」という思いが人々を結びつけ、見事、歌舞伎をひとつにまとめあげました。

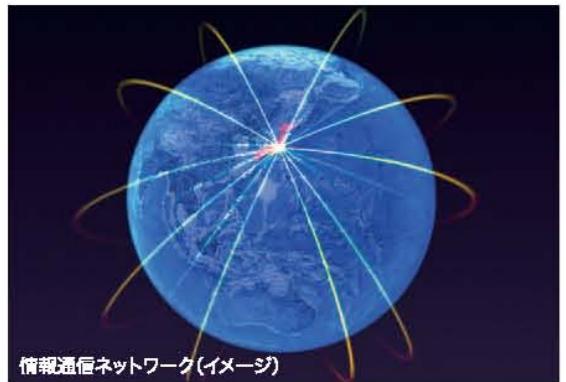
平谷村で行われたイベントがきっかけで、中学生による歌舞伎に大きな意義を感じた（故）小池恒久氏（歌舞伎保存会会長）が、中学校に話を持ちかけたことから始まりました。そこから、クラブ活動が発足し、現在は、歌舞伎クラブとして兼部のできる部活動として存続しています。

下條中学校歌舞伎クラブ

平成16年9月より、「伝統文化こども教室事業」を活用し、小学生対象の歌舞伎教室（下條村こども歌舞伎教室）を実施しました。こども歌舞伎教室に参加した子供達が中学校へ進み、歌舞伎クラブに入つて活動するという良い流れが生まれています。



安心安全で魅力あふれるむらづくり



道の駅の充実と活用

情報通信網の整備

消防・防災

村内外との交通ネットワークの形成



元気ば
育つ

秘訣 その7 人・物・情報のネットワーク

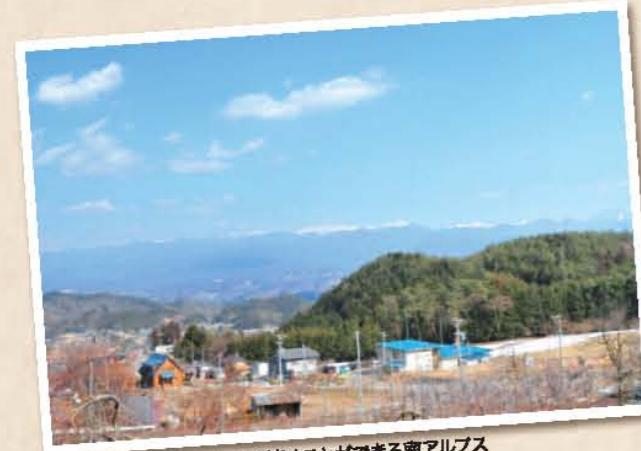
- ① マーケティング志向に立った農業経営の推進
- ② 地域総合情報ネットワークの推進
- ③ 効率改善のための交通ネットワークづくり



古田康尋さん

より良い品質を保つため、減農薬・無化学肥料を使用しています。また土壌づくりにも気を配り、近所の仲間と協力して自分たちで堆肥も作っています。そのこだわりを持って作った果物は、徐々にではありますが「口コミ」でお客様も増え、大都市の大手スーパー・全国展開をしている通販会社等でも取り上げてもらい、販売されています。また、中京方面からはリンク狩りのお客様も来ていただき喜んでもらっています。

自分の生まれた村で
観音行したい。



果樹園から見渡すことができる南アルプス
赤く染まる南アルプスがお気に入りの古田さん

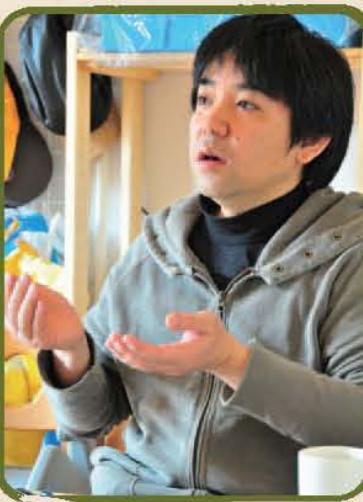
「元気が 育つ村へ つどう 人たち



保育園の運動会



保育園の親子遠足



伊東泰成さん ·昭和47年生まれ 41才
·飯田市出身
·職業は介護福祉士

元気があふれる先輩たち!!

下條村で仕事の時や地域活動の中などで思うことは、自分よりも年上の「おじさん・おばさん」がとっても元気だとこうことです。働いてる姿や村内で見かけたりする姿を見ると「自分たちより年輩だけど元気で活発だな。」と感じ、感心しています。そして、私たちの世代は、上の世代の人たちのように、元気で明るく喜らせるようになりたいと思います。それは自分たちがこの村に熱意や愛情をもって楽しく暮らすことが、生まれ育った下條村を元気にすることでもあると考えます。これから、もっと若い世代や村の産業の後継者も育てていけたらいいなと思っています。

A下條村には、様々な伝統や文化が根付いています。元々舞台美術が仕事の妻は、下條歌舞伎に入り定期公演で初舞台を踏みました。私も都合のつく限り地域の花見や、どんど焼き、草刈り、子供の保育園の行事に参加しています。下條村は全国的にも名前が知られ、以前暮していた、川崎市の友人が「日本」有名な村だ。」と言うほどになっています。これからも、もっと下條村というブランドを国内外に発信し、他国他県とも交流を深め、今後は子育て世代のみならず全ての人が住みたいと思う村でいてください。

Q 今の下條村の「元気なところ」は何ですか？
A 子供達とカッセイカマンですね。村薬マンシヨンに
は元気な子供がいっぱい。長男の友達が「遊べる？」
と呼びに来てくれますが、都会では治安の問題で、
一人で友達の家に遊びに行かすことができません
でした。しかし、ここでは安心して近所のお友達と
毎日暗くなるまで遊んでいます。カッセイカマンは
長男も大好き。正義のためじゃなく、不況に立ち
向かうところが面白い。あとは、お年寄りも元気
ですね。下條村の長寿番付に、91歳の祖母の名前が
無く記載モレかと思ひよく見たら、皆さん祖母より
も歳上だったので驚きました。

下條村の元気な
お年寄りに驚き。

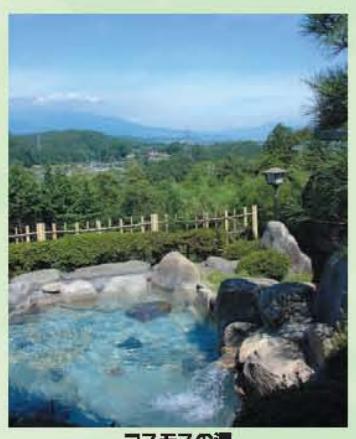
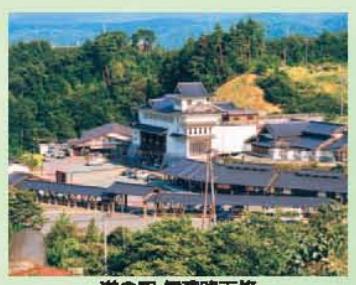
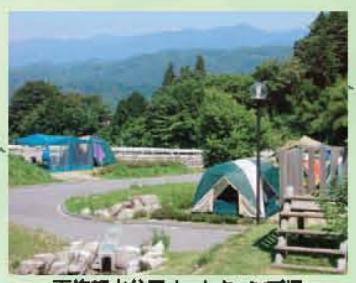
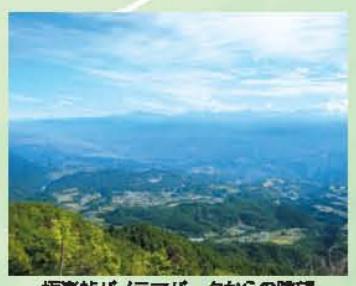


伊東さん一家

下條村120年 のおもな歩み

明治21年	郡境より、陽翠、曉沢西村合併が出され、両村異議無く両村統合の連署をもって合併合意する。
明治22年	曉沢村と陽翠村が合併し、下條村となる。人口3,843人、戸数663戸。
明治23年	村委会議員選挙が行われ、12人が当選する。初代村長に中島慎吉が就任。
明治24年	第2代村長に飯島伝造就任。
明治25年	明治32年 小学校令により、陽翠、曉沢、親田の3尋常小学校が発足(尋常4年まで)。
明治26年	本校を陽翠学校に置く。
明治27年	陽翠小学校へ高等科を設置。
明治28年	明治33年 第3代村長に原藤太郎就任。
明治29年	明治42年 第4代村長に村沢虎吉就任。
明治30年	明治36年 第5代村長に塩澤幹就任。阿知原の福島喜男が村委会議員に選任される。
明治31年	明治37年 この年、村に初めて自転車が入る。
明治32年	明治45年 大山田神社・応神天皇社殿・八郎明神社殿が国の特別保護建造物の指定を受ける。
明治33年	明治47年 第6代村長に古田増蔵就任。
明治34年	明治48年 第7代村長に塩澤幹就任。この頃、新井の下条製糸工員が200人を超し、新井の街並みが繁盛する。運送会社も誕生する。
明治35年	昭和46年 第5代村長に幾島慶太郎就任。阿知原の福島喜男が村委会議員に選任される。
明治36年	昭和47年 第8代村長に古田増蔵就任。
明治37年	昭和48年 第9代村長に塩澤幹就任。
明治38年	昭和49年 第10代村長に伊澤幹就任。
明治39年	昭和50年 第11代村長に伊澤幹就任。
明治40年	昭和51年 第12代村長に佐々木良就任。中島定雄(合原)が県会議員に当選。
明治41年	昭和52年 第13代村長に伊澤幹就任。
明治42年	昭和53年 第14代村長に伊澤幹就任。
明治43年	昭和54年 第15代村長に伊澤幹就任。
明治44年	昭和55年 第16代村長に伊澤幹就任。
明治45年	昭和56年 第17代村長に伊澤幹就任。
明治46年	昭和57年 第18代村長に伊澤幹就任。
明治47年	昭和58年 第19代村長に伊澤幹就任。
明治48年	昭和59年 第20代村長に伊澤幹就任。
明治49年	昭和60年 第21代村長に伊澤幹就任。
明治50年	昭和61年 第22代村長に伊澤幹就任。
昭和1年	昭和62年 第23代村長に伊澤幹就任。
昭和2年	昭和63年 第24代村長に村沢千冬が就任。
昭和3年	昭和64年 第25代村長に佐々木忠が就任。
昭和4年	昭和65年 第26代村長に塩澤幹が就任。
昭和5年	昭和66年 第27代村長に塩澤幹が就任。
昭和6年	昭和67年 第28代村長に塩澤幹が就任。
昭和7年	昭和68年 第29代村長に塩澤幹が就任。
昭和8年	昭和69年 第30代村長に塩澤幹が就任。
昭和9年	昭和70年 第31代村長に塩澤幹が就任。
昭和10年	昭和71年 第32代村長に塩澤幹が就任。
昭和11年	昭和72年 第33代村長に塩澤幹が就任。
昭和12年	昭和73年 第34代村長に塩澤幹が就任。
昭和13年	昭和74年 第35代村長に塩澤幹が就任。
昭和14年	昭和75年 第36代村長に塩澤幹が就任。
昭和15年	昭和76年 第37代村長に塩澤幹が就任。
昭和16年	昭和77年 第38代村長に塩澤幹が就任。
昭和17年	昭和78年 第39代村長に塩澤幹が就任。
昭和18年	昭和79年 第40代村長に塩澤幹が就任。
昭和19年	昭和80年 第41代村長に塩澤幹が就任。
昭和20年	昭和81年 第42代村長に塩澤幹が就任。
昭和21年	昭和82年 第43代村長に塩澤幹が就任。
昭和22年	昭和83年 第44代村長に塩澤幹が就任。
昭和23年	昭和84年 第45代村長に塩澤幹が就任。
昭和24年	昭和85年 第46代村長に塩澤幹が就任。
昭和25年	昭和86年 第47代村長に塩澤幹が就任。
昭和26年	昭和87年 第48代村長に塩澤幹が就任。
昭和27年	昭和88年 第49代村長に塩澤幹が就任。
昭和28年	昭和89年 第50代村長に塩澤幹が就任。
昭和29年	昭和90年 第51代村長に塩澤幹が就任。
昭和30年	昭和91年 第52代村長に塩澤幹が就任。
昭和31年	昭和92年 第53代村長に塩澤幹が就任。
昭和32年	昭和93年 第54代村長に塩澤幹が就任。
昭和33年	昭和94年 第55代村長に塩澤幹が就任。
昭和34年	昭和95年 第56代村長に塩澤幹が就任。
昭和35年	全村一校の歴史的な入学式、始業式行われる。小中学校パン食による完全給食始まる。
昭和36年	有線放送電話の設置認可される翌年1月1日から業務開始。
昭和37年	因道粒良路トンネル開削工事始まる。
昭和38年	陽翠保育所が開設され、漸次曉沢は、親田で開設する。第23代村長に代田清文就任。
昭和39年	国道粒良路トンネルが完成する。この頃から干し柿の出荷盛んとなる。「伊那のコロ柿」として重要な特産品となる。
昭和40年	下條村歌舞伎保存会発足する。
昭和41年	ワンカ大発生。しかし米は未賃有の大豊作で米荷量9,900俵となる。
昭和42年	下條村農業センター発足する。
昭和43年	乳幼児重度身障者医療費無料化。国道小松原トンネル開通し、期成同盟会が竣工式を行う。大久保の新長瀬橋完成、村の観光の玄関口となる。
昭和44年	有線放送電話自動化完成し、開通する。国道151号諏訪の沢橋工事着工。
昭和45年	全国初めての「老人ホーム光の園」が長原に完成する。園の改良が進み、万才大補完成する。
昭和46年	下條村歌舞伎保存会発足する。
昭和47年	第24代村長に村沢千冬が就任。
昭和48年	第25代村長に佐々木忠が就任。
昭和49年	老人福祉センターが完成。下條村公営結婚式の第一号が誕生。下條村誌発刊される。
昭和50年	吉岡城南・北大橋が完成する。
昭和51年	役場新庁舎完成。商工業の発展に伴う店舗共同化事業により、スババ陽翠
昭和52年	シヨリップ・シングセンター開店する(合原)。
昭和53年	下條村商工会館落成記念式典を行う。
昭和54年	B&G海洋センター・体育館完成祝賀会が行われる。
昭和55年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和56年	吉岡城南・北大橋が完成する。
昭和57年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和58年	吉岡城南・北大橋が完成する。
昭和59年	台風10号により、通路、農地、河川に大災害発生。被災甚大。この頃、公営結婚式100組となる。
昭和60年	中学校校舎新築完成、近代的な設備により教育施設の充実する。
昭和61年	シヨリップ・シングセンター開店する(合原)。
昭和62年	下條村村民グラウンド竣工。下條村商工会館落成記念式典を行う。
昭和63年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和64年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和65年	台風10号により、通路、農地、河川に大災害発生。被災甚大。この頃、公営結婚式100組となる。
昭和66年	中学校校舎新築完成、近代的な設備により教育施設の充実する。
昭和67年	この年、極楽林道が完成し、村の活性化の夢広がる。定数2名削減の村委会議員選舉を行われる。粒良路自歩道車用トンネル建設工事に着手。
昭和68年	全村水道衛生浄水場が完成。
昭和69年	阿知原より温泉が発掘され、村の活性化の夢広がる。定数2名削減の村委会議員選舉を行われる。粒良路自歩道車用トンネル建設工事に着手。
昭和70年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和71年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和72年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和73年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和74年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和75年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和76年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和77年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和78年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和79年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和80年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和81年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和82年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和83年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和84年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和85年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和86年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和87年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和88年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和89年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和90年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和91年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和92年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和93年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和94年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和95年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和96年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和97年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和98年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和99年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和100年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和101年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和102年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和103年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和104年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和105年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和106年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和107年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和108年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和109年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和110年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和111年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和112年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和113年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和114年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和115年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和116年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和117年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和118年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和119年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和120年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和121年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和122年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和123年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和124年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和125年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和126年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和127年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和128年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和129年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和130年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和131年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和132年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和133年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和134年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和135年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和136年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和137年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和138年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和139年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和140年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和141年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和142年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和143年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和144年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和145年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和146年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和147年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和148年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和149年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和150年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和151年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和152年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和153年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和154年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和155年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和156年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和157年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和158年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和159年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和160年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和161年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和162年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和163年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和164年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和165年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和166年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和167年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和168年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和169年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和170年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和171年	下條村海水浴場完成祝賀会が行われる。
昭和17	

下條村MAP



天龍峡ICから



下條村民憲章

わたくしたちの下條村は、下條山脈の東麓に拓けた扇状台地に位置する、豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統に培われて発展してきた文化の香り高い村であります。わたくしたちは、この下條村民であることに大いなる誇りと自覚をもち、限りなき明日への飛躍をめざしつつ住みよい村づくりのため、ここに村民憲章を定めます。

自然を愛し、緑と水の美しい村をつくります。

教育と文化を高め、創造力に富む村をつくります。

思いやりの心をもち、福祉の村をつくります。

働くことに生きがいをもち、豊かな村をつくります。

あいさつを交わし合う、明るい村をつくります。

平成元年10月19日制定

長野県 下條村



〒399-2101 長野県下伊那郡下條村睦沢8801-1

TEL 0260-27-2311 FAX 0260-27-3536

ホームページ <http://www.vill-shimojo.jp/>

メールアドレス shimojo@vill-shimojo.jp

発行：2013年3月

■村章

下條村の頭文字「シ」を、大空へ向かってはばたく鳥の姿を図案化し、中の円は村民の和と太陽を示し、流れるような線で條を表現しています。全体的な躍動は、限りない未来へ躍進する村の姿を象徴しています。

昭和47年4月制定

■村木／ハナノキ（かえで科）

樹形がよく雄々しい風格に富んだ巨木となる木で、主に下伊那郡西南に自生し、下條村は全国でも数少ない自生村の一つである。芽吹きと紅葉が極めて美しく遠くから赤く花盛りが見える。色と姿は、古い歴史を礎に限なく発展して内外から注目を集め村の姿を表現するにふさわしく、村木とした。



■村花／コスモス（きく科）

花は可憐、庶民的で花言葉は乙女の純潔、乙女の愛情、生命力が旺盛でどこでもよく育ち繁茂する。「コスモス」には「聖なる秩序」「宇宙」という意味があり、旺盛な生命力と言葉の意味は、将来に向かって限りない発展をめざす村を表現するにふさわしく、村花とした。

